

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施。

《担当者名》 長谷川 聡 鈴木 真知子（非）

【概要】

言語発達の過程を理解した上で、これを阻害する聴覚障害・言語障害・発声発語障害などを理解する。言語障害の発達障害の中での位置づけ、言語障害児への訓練・治療、教育と福祉の目標と方法について学ぶ。

【学習目標】

- 1) 音声の言語および言語発達の基本を理解するために、これを概説できる。
- 2) 言語聴覚障害の種類、症状、原因を理解するために、これを概説できる。
- 3) 聴覚障害、言語障害、発声発語障害について理解するために、これを概説できる。
- 4) 言語障害児の教育と福祉について理解するために、これを概説できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	言語聴覚障害総論 1	音声と言語 その基本事項について検討する。 言語発達 その基本事項について検討する。	長谷川
2	言語聴覚障害総論 2	言語聴覚障害 その種類と特徴について検討する。 言語聴覚障害児 その教育と福祉について検討する。	長谷川
3	聴覚障害 1	聴覚 そのメカニズムについて検討する。 聴覚発達 その概要について検討する。	長谷川
4	聴覚障害 2	聴力検査 その方法について検討する。 聴覚障害評価 その方法について検討する。	長谷川
5	聴覚障害 3	補聴 その方法について検討する。 音声言語教育 その方法について検討する。	長谷川
6	聴覚障害 4	視覚言語 その種類と特徴について検討する。 視覚言語教育 その種類と方法について検討する。	長谷川
7	聴覚障害 5	聴覚障害福祉 その概要について検討する	長谷川
8	言語障害 1	音声障害 その概要とメカニズムについて検討する。	鈴木
9	言語障害 2	構音障害の検査・評価 その方法について検討する。	鈴木
10	言語障害 3	言語発達遅滞 その病理と障害およびダウン症等の代表的疾患について検討する。	鈴木
11	言語障害 4	高次脳機能障害 1 学習障害、広汎性発達障害等について検討する。	鈴木
12	言語障害 5	高次脳機能障害 2 脳性マヒの病理について検討する 代替拡大コミュニケーション その種類と方法について検討する。	鈴木
13	言語障害診断・検査法	言語検査 代表的検査と診断法について検討する。	鈴木
14	言語障害の教育と治療	言語治療 その概要と方法について検討する。 家庭療育 その概要について検討する。	鈴木
15	総括	言語障害児教育 学習項目の全般と補足事項について検討する。	鈴木

【評価方法】

中間レポート50%、期末レポート50%。

【備考】

教科書：「入門講座・コミュニケーションの障害とその回復 第1巻 子どものコミュニケーション障害」笹沼 澄子（監修）、大石 敬子（編集） 大修館書店

参考書：「入門講座・コミュニケーションの障害とその回復 第2巻 成人のコミュニケーション障害」笹沼 澄子（監修）、大石 敬子（編集） 大修館書店
「標準言語聴覚障害学 聴覚障害学」藤田郁代監修 医学書院
「特別支援教育における言語・コミュニケーション・読み書きに困難がある子どもの理解と支援」大伴潔・大井学 編著 学苑社
「特別支援教育における構音障害のある子どもの理解と支援」加藤正子他編 学苑社
「特別支援教育における吃音・流暢性障害のある子どもへの理解と支援」小林宏明他編 学苑社

【学習の準備】

事前学習として指定教科書を音読して、特に教科書中の難読漢字を、辞書を調べるなどしてふり仮名を振り、「読める」ようにしておくこと（6-8時間程度）。

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「特別支援教育に関する科目」（免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目）
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目
心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程および指導法に関する科目
中心となる領域：聴覚障害者

【実務経験】

長谷川聡(行政職員(福祉技術職))、鈴木真知子(言語聴覚士)

【実務経験を活かした教育内容】

相談機関、リハビリテーションセンター等での実務経験を活かし、聴覚言語障害児の療育についてその発見、診断、個別教育・福祉プログラムの作成と実行に至る一連の流れと、いくつかの代表的な療育プログラムやコミュニケーション法について講義する。